

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 31
ID 102001

【施設状況】

グループ名称	障害者福祉施設（ななせ仲まち園、栗田園、ふたば園）								
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会					法人番号	5100005001689		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	1411	ななせ仲まち園							
	1421	栗田園							
	1415	ふたば園							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	02	利用料金制
施設概要	ななせ仲まち園 作業室3、静養室2、食堂兼多目的室、相談室、更衣室2、事務室2 栗田園 作業室4、静養室3、相談室、更衣室2、職員室、事務室 ふたば園【本園】 作業室、静養室兼多目的室、更衣室2、事務室兼相談室 ふたば園【分園】 作業室、作業室兼多目的室、静養室、更衣室2								
施設設置目的	障害者に対し就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、及び就労の機会を提供し、並びに障害児に対し生活能力の向上のために必要な訓練等を行うことにより、障害者及び障害児の福祉の増進を図る。								
基本方針等	1. 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援に努めます。 2. 地域や家族との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、居宅支援事業者その他保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との連携に努めます。 3. 生産活動の機会の提供にあたっては、利用者の心身の状況、意向、障害の特性等を考慮します。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援 ・就労継続支援B型 ・放課後等デイサービス（栗田園） 								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会			指定回数	2 回	
指定期間	平成23年4月1日	～	平成28年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	H24	H25	H26	H27	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		就労移行支援	ななせ仲まち園	人	1.9	4.4	5.0	5.6	112%
		就労継続支援B型	ななせ仲まち園	人	35.5	33.3	30.9	32.3	105%
		就労移行支援	栗田園	人	4.9	2.2	4.5	5.2	116%
		就労継続支援B型	栗田園	人	19.9	21.0	18.9	17.4	92%
		放課後等デイサービス	栗田園	人		0.4	2.4	6.6	275%
		就労移行支援	ふたば園	人	6.9	5.7	6.3	0.0	0%
		就労継続支援B型	ふたば園	人	26.0	30.7	32.5	37.2	114%
		(特記事項) ・ 利用状況は、日平均 ・ 放課後等デイサービスは、H26年1月から実施							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・ 利用の申し出に対する承認に関する業務 ・ 就労移行支援、就労継続支援B型、放課後等デイサービスに関する業務 ・ 施設及び設備の維持管理に関する業務			・ 就労移行利用を新規に希望する者がなく利用実績がない。(ふたば園)				
	自主事業	・ 送迎サービス ・ イベント等における、販売実習の実施 ・ 旅行やお花見、キャンプ、節分会など季節に応じたイベントを実施			・ 追加事業 社会福祉法人の社会貢献事業として生活困窮者に対して食糧支援を実施している。(ななせ仲まち園)				
サービス維持・向上の取組み(広報等)		通所施設ガイドブックやホームページへの掲載をし、利用申し込みの受付体制の確保、利用者からの苦情に対する対応をしている。							

4

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者会議等	3
		(2) 調査、会議等の内容	利用者会議や家族会への出席、個別支援計画の作成に合わせた面接、昼食を一緒にとるなどの機会を利用し、本人や家族に対する聞き取り調査を行い、利用者の要望把握に努めている。	
(3) 調査、会議等の結果	調査結果を利用者の個別支援計画や目標設定の参考としている。			
利用者評価	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	・ 利用者や保護者の意見・相談に耳を傾けることに力を入れていて、一定の評価を得ている。 ・ 就労移行については、前年度のほぼ倍の利用者が就職に結びついたことにより、利用希望者等からも高い評価を受け、施設見学者や実習体験者が大幅に増加している。それにより、ななせ仲まち園では受け入れが困難な状況も発生したことから、近接地にあり、連携体制をとっている栗田園での受け入れを進めている。	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	職員の利用者に対する言葉づかいについて、子ども扱いしている、威圧的である、との苦情があった。(ふたば園)	
		<<対応措置>> 話し合いの場を持ち、理解を得て解決した。(ふたば園)		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成27年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	194,044,000	利用料金	182,064,947	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料		指定管理料			雑（納付金）		雑（納付金）	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等	32,445,000	販売収入等	27,878,510		その他		その他	
	その他収入	158,000	その他収入	246,629					
	計	226,647,000	計	210,190,086		計	0	計	0
自主事業	人件費	151,194,000	人件費	143,394,757	自主事業	指定管理料		指定管理料	
	設備管理費	13,549,000	設備管理費	9,112,487		委託料		委託料	
損益	備品購入費	671,000	備品購入費	427,945	差引	需用費		需用費	
	修繕費	1,150,000	修繕費	507,218		役務費		役務費	
	光熱水費	3,469,000	光熱水費	2,576,148		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	39,729,000	事業費	32,877,386		修繕費		修繕費	
	事務経費	7,966,000	事務経費	5,616,750		工事請負費	914,760	工事請負費	
	本社経費		本社経費			備品購入費	390,960	備品購入費	
	その他		その他			その他		その他	
			減価償却費	452,344		計	1,305,720	計	0
	計	217,728,000	計	194,965,035					
	収入	792,000	収入	439,800					
	支出		支出						
	自主事業損益	792,000	自主事業損益	439,800					
	損益	9,711,000		15,664,851			-1,305,720		0
人件費比率【人件費（賃金等）／平成27年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）									73.5%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価						
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3						
	配置実績 （うち市内雇用職員数） <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ななせ仲まち園</td> <td>12人 (12)</td> </tr> <tr> <td>栗田園</td> <td>18人 (18)</td> </tr> <tr> <td>ふたば園</td> <td>15人 (11)</td> </tr> </table>			ななせ仲まち園	12人 (12)	栗田園	18人 (18)	ふたば園	15人 (11)
	ななせ仲まち園			12人 (12)					
	栗田園			18人 (18)					
ふたば園	15人 (11)								
2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか									
3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか									
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3						
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか								
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3						
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか								
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3						
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか								
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3						
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか								
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3						

6 危機管理体制 ※すべてで、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

No. 31

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか				

7 地域連携

地域連携	評価	
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	3	
協定内容・指定管理者提案		追加された内容、未実施の内容及びその理由
地域と連携しての防火訓練や作業活動等の実施		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>合計得点</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">62</p> </div> </div>
施設の有効活用	4	8	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	

評価理由
 施設の目的及び基本方針に適合した運営を行っており、苦情や事故もなく利用者に対して利用者の立場に立った安定したサービスが提供されている。
 また、家族や保護者、地元住民とも協力・連携をとりながら事業が実施された。
 施設の有効活用の面では、全体的に利用者数が前年を上回っていること、就労移行支援における職場定着が好成績であることなどから、評価を4とした。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	・一般就労へ向けた支援 (作業訓練) の充実をはかるとともに就労の定着に向けた支援を行う	・ななせ仲まちは市内養護学校生等の見学会を行い、生徒の受け入れ等により利用者増につながった。また、企業等へ積極的にアプローチし就労先の確保を行うとともに就労後のフォローをすることにより、就労後6月以内 (支援期間) の離職は無い。	・就労移行支援の実績のなかったふたば園について、ニーズのあるサービスのあり方を検討する。
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	引き続き、安定したサービスの提供に努める。		

指定管理者自己評価

C

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

【ななせ仲まち園】

- ・施設見学者76名、実習体験者12名を受け入れ9名の利用者と契約を締結し通園に結びつけました。
- ・就労移行4名、就労継続支援B型3名を就職に結びつけました。
- ・各種イベントへの参加、新規作業種目への取り組み、余暇活動への参加などを通じニーズを満たすようサービス提供を行いました。
- ・就職に結びつけるための実習先を確保し、利用者のニーズ実現のため就労体験を実施しました。
- ・養護学校との連携を図るべく養護学校生徒の施設見学や実習体験を積極的に受け入れました。

【栗田園】

- ・就労系事業については、箱折り・床材の部品組立て・清掃等の受託作業、名刺・パンフレット・オリジナルTシャツ等の印刷事業、編み物製作等の自主製品製作販売事業といった幅広い事業展開をし、利用者の作業の選択肢を増やすように努めました。
- ・十分なアセスメントに基づいた、きめ細かな個別支援計画を作成し、利用者及び家族のニーズや意向に沿ったサービスの提供となるよう努めました。
- ・利用者との連絡会や家族との懇談会を開催し、様々な意見や要望等を施設運営に活かすよう努めました。
- ・法人内の就労継続B型、就労移行及び放課後等デイサービス事業所と連携し、一体的な支援体制となるよう努めました。

【ふたば園】

- ・障害特性にあった作業種を導入し、働く喜びを実感することで意欲や自信につながる支援を目指している。
- ・多様化するニーズに対応するため関係機関と情報を共有するとともに、研修を実施し職員の専門性を高めている。
- ・家族のニーズに応えるため、希望により朝夕のタイムケア事業を実施している。
- ・家族の負担軽減のため、一部送迎を実施している。
- ・移行事業については利用希望がない。就労継続B型事業から就労希望のある場合は、就職への取組みができるように職員体制を整えている。

② 業務の効率化に対する取組み

【ななせ仲まち園】

- ・経費については、全般にわたり削減に努めました。
- ・納品を効率的に行う体制を構築しこれに関わる経費削減に努めました。
- ・職員間の連携を確実に図るため各種会議を開催し利用者ニーズの実現を図りました。

【栗田園】

- ・全職種が協働体制を取り、人件費の削減等に努めました。
- ・法人内の就労継続B型、就労移行及び放課後等デイサービス事業所と連携し、一体的な事業展開を図りました。
- ・事業所内においても、就労継続B型、就労移行事業所が連携をし、一体的な事業展開を図りました。

【ふたば園】

- ・法人内のネットワーク環境を整え、情報を共有するとともに、関係機関と連携し、迅速な対応ができるようにしている。
- ・会計ソフトを導入し、法人本部の管理のもと適正な処理をするとともに、経費削減や業務の見直しをしている。
- ・支援記録システムを導入し、業務日誌、アセスメント、個別支援計画、ケース記録等、統一書式を使用することにより、業務の省力化につなげている。また、職員が統一支援をすることで、利用者が混乱することがないようにしている。

③ その他

【ななせ仲まち園】

- ・法人の中長期総合計画の後期計画を作成し、今後5年間の方針を確定させました。
- ・公民館等、各種社会福祉施設からの要請に応え出張販売に参加しました。また、「置き売り」の販売箇所の増加に努めました。
- ・就職後の定着支援をJOBコーチに頼るのではなく、当施設の職員が積極的にを行い定着に結びつけるとともに、企業に対して障害者雇用の助成金等も含め説明を実施しました。

【栗田園】

- ・名刺・パンフレット・オリジナルTシャツ等の印刷事業に関して、法人内部だけでなく外部からの注文が増加しており、栗田園の看板事業になっております。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

【ななせ仲まち園】

- ・就労移行利用者の確保と定着支援の充実。
- ・工賃向上の取り組み。
- ・重度障害者に対する作業種目の確保。
- ・設備面における制約から移行プログラムの実施不可能。
- ・設備面の制約からくる利用者の相談業務の実施不可能。

【栗田園】

- ・施設の老朽化が進み、灯油タンク保管庫等修繕の必要な箇所が増加傾向にあり、その対応をお願いしたい。
- ・耐震診断を含め耐震対策が未実施であるので、早急に対応もお願いしたい。
- ・平成26年1月に就労継続B型事業所の定員を20名から30名に変更しましたが、利用率が思うように伸びず、利用促進対策が必要となっています。

【ふたば園】

- ・毎日100%を超える利用があり、作業スペースの確保がむずかしい状況。車椅子の方も利用しているため、更に利用しやすい環境を整備していただきたい。

(3) 次年度以降の取組み

【ななせ仲まち園】

- ・移行における就職実績の確保に努めます。
- ・丁寧な定着支援に努め、利用者ニーズの実現に努めます。
- ・工賃向上に優先調達法の活用を始めとする様々な取組を行います。
- ・職員に資質向上を図るため、法人の研修計画による研修を始めとし、外部研修にも積極的に参加します。

【栗田園】

- ・就労系事業に関して、看板事業である印刷事業において、より多くの工程に利用者が携われるよう、また職員のバックアップ体制も明確化できるよう、創意工夫をしていきます。
- ・就労継続B型事業所の利用率向上を目指し、サービス内容の充実並びに養護学校及び相談支援事業所等関係機関との連携強化を図ります。
- ・法人内の放課後等デイサービス事業所との連携を継続し、一体的な事業展開を図るとともに、栗田園での活動内容の幅を広げるための創意工夫をします。

【ふたば園】

- ・個々の障害特性、多様化するニーズに応えるため、更に職員の専門性を高めていく。
- ・社会、企業とのつながりを大切にし、就労体験や施設外作業を取入れていく。
- ・就労を基本にししながら、生活支援等のニーズに応えていくため日課やカリキュラムの工夫をしていく。

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る